

主催：SOMPO ケア若木（基幹） 定期巡回  
板橋仲宿・ときわ台南（サテライト）

参加者：長谷部様 (板橋区介護保険課)  
細野様 (中台おとしより相談センター保健師)  
平家様 (サン薬局王子店薬剤師)  
竹内様 (板橋区医師会在宅ケアセンター)  
鈴木様・梶様 (セントケア巡回ステーション板橋)  
眞鍋様・石川様 (定期巡回サービス土屋板橋)  
鈴木様 (Link 板橋定期巡回)  
永田CM・宮崎CM・藤野CM (徳丸居宅介護事業所)  
鈴木NS (SOMP ケア徳丸訪問看護)  
亀井さん・新坂さん (SOMP ケア徳丸定期巡回)  
小島さん・雨宮 (SOMP ケア若木定期巡回)  
羽石さん・金野さん (そんぽの家 s 並木成増)  
田口さん・松本さん (そんぽの家 s 新高島平)  
柿崎さん・堂埜さん (そんぽの家 s 板橋仲宿)  
秋山さん・永瀬さん (そんぽの家 s ときわ台南)

欠席者：居宅介護支援事業所ゴルディロックス

### 【議題1】行事及び事業報告

<概要>

#### 【セントケア巡回ステーション板橋】

定期巡回サービスの制度概要説明

2012年4月創設、日中・夜間を含め24時間在宅生活を支援。

4つの柱：①定期巡回訪問 ②随時対応（コール端末） ③随時訪問 ④訪問看護。

介護医療連携推進会議は半年に1回開催が必要

上板橋駅近く、職員10名（常勤9・非常勤1）、男性7・女性3。

板橋区内で10事業所、サテライト含め15か所展開。

9月時点利用者21名（男女比：女性多め／独居世帯も増加）。

(実績利用状況)

平均要介護度：3.3（やや低下傾向）。

看護利用率：併設訪問看護あり → 約 60% 利用、医療保険含むと 8~9 割。

コール対応：約 100 件/月（内容は排泄関連依頼が最多、誤押しもあり）。

#### 【Link 板橋定期巡回】

事業所概要

2023 年 8 月開設、2 年目。

利用者 23~25 名、8 割が看護サービス併用。

(実績利用状況)

電話対応のみで解決するケースも増加。

#### 【定期巡回サービス土屋板橋】

事業所概要

2023 年 3 月開設、志村坂上駅徒歩 1 分。

職員 8 名（非常勤 2）、男性が多数。

(実績利用状況)

利用者 16~17 名で推移。

平均要介護度：約 2.8。

1 人あたり訪問回数：月 25 回前後。

随時対応

随時訪問：月 30 回前後。

コールのみ対応：80~100 件。

内容は「動けなくなった」「寂しい」など。

#### 【SOMP ケア徳丸定期巡回】

職員数：正社員 22 名、非常勤 9 名（計 31 名）

利用者数：徳丸 11 名（在宅中心）、新高島平 20 名、並木 31 名（いずれもサ高住中心）。

利用者傾向：要介護 1 が多く、要介護 5 は少数。建物系は排泄・服薬に加えて移動援助も多い。

随時対応：他事業所に比べ少なめ。不安相談が中心。緊急対応はなし。誤報が比較的多い。

#### 【SOMP ケア若木定期巡回】

職員数：若木 常勤 9・非常勤 9、仲宿 常勤 8・非常勤 5、ときわ台南 常勤 6・非常勤 6。

利用者数：建物（サ高住）+在宅で平均 70 名程度。特徴として（一度利用すると長期利用が多い）

利用者傾向：在宅は介護度が重め、サ高住は要介護1～2が中心。平均年齢84歳（最高104歳）。

随時対応・オペレーション：在宅利用が少ないためコール件数は少なめ。主な内容は不安相談。

時間帯：夕方～夜に集中。

上記の5つの事業所より、事業所の概要、活動状況報告、サービス提供状況、オペレーションセンター対応内容、サービス事例紹介を実施。

各事業所で利用者層やサービス形態に応じた特色が見られる。

他別紙参照

<主な質問、意見等>

質疑応答なし

## 【議題2】事故報告

<概要>

事故・クレーム報告

1. 金銭トラブル（入浴介助中に金銭紛失 → 警察対応、契約解除）
2. 内服誤薬（昼夜の薬を同時服薬） → ヘルパー独断判断が原因。以降は確認体制を徹底。
3. 古い住宅でドライヤー使用によりブレーカー落下 → 冷房使用不可で熱中症リスク。スタッフが交代で対応。  
→ 教訓：事前に住宅設備や電気容量の確認を共有する必要。
5. 服薬関連のヒヤリ。
6. 職員の車両事故
7. 服薬ミスが夏に増加傾向。

<主な質問、意見等>

質疑応答なし

## 【次回開催日時等】

<日時> 2026年2月開催予定

<場所> 検討中（SOMPO ケア徳丸 会議室予定）